

令和7（2025）年度 宝塚医療大学 入学試験

一般選抜 前期 α 日程 問題

国語

問題は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 問題冊子、解答用紙に受験番号（7桁）・名前を記入してください。
- 2 問題冊子は全12ページ（問題は2ページから12ページ）です。解答用紙は別になっています。不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 4 句読点も字数に含めます。
- 5 問題用紙の余白等を利用して構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 試験終了後、問題用紙、解答用紙とも回収しますので持ち帰らないでください。

| | | |
|--|---------|-----|
| | 受 験 番 号 | 名 前 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

【一】 次の文章を読んで、あとの問一～問八に答えなさい。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。
参考のため、設問は掲載しております。

(浅見克彦『(装うこと)の倫理ファッション・消費・身体』による。一部改変)

語注

- (注1) サルトル ……フランスの哲学者。
- (注2) キヤミソール ……肩を露出させる上半身用下着・上衣。
- (注3) モード ……流行。
- (注4) デイスプレイ ……表示。
- (注5) G・ジンメル ……ドイツの哲学者・社会学者。
- (注6) ローライズ ……股の上を極端に浅くしたパンツ(ズボン)のデザイン。
- (注7) ラディカル ……根本的・基本的。
- (注8) アイビーやサイケ ……どちらも昔に流行したファッションスタイルの名称

問一 本文中の傍線部A「それ」が指示する語句として最も適切なものを次の選択肢から選んで記号で答えなさい。

- ア 他者 イ 可視性 ウ 自己 エ 視線 オ 服装 カ 問い

問二 本文中の空欄1に入れるのに最も適切な語句を本文中の空欄1のある箇所より前の部分から探して二字で書き抜きなさい。

問三 本文中の空欄2～5に入れるのに最も適切なものを次の選択肢からそれぞれ選んで記号で答えなさい。選択肢は一度ずつしか使用してはいけません。

- ア あるいは イ むしろ ウ なぜなら エ それなら オ だが カ はたして キ もしも

問四 本文中の空欄6、7に入れるのに最も適切なものを次の選択肢からそれぞれ選んで記号で答えなさい。選択肢は一度ずつしか使用してはいけません。

- ア 身体的 イ 社会的 ウ 画的 エ 懐古的 オ 消極的

問五 本文中の傍線部B「ファッション」とは何であるかを最も適切に説明した一文を本文中から探してその初めと終わりの七字をそれぞれ書き抜きなさい。

問六 本文中の傍線部C「そこでめざされているのは、他者と違う独自のオモシロサであり」とありますが、これについて説明した次の文の空欄に入れるのに適切な内容を、本文の言葉を用いて六十字以内で書きなさい。ただし、「差異を身にまとうこと」、「内容的な価値」の二つの言葉を必ず使用しなさい。

見栄えの悪さは自覚しつつも、ことを企てているということ。

問七 本文中の空欄8、9に入れるのに最も適切なものを次の選択肢からそれぞれ選んで記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|-----|------|------|------|------|--------------------------|
| 空欄8 | ア 極道 | イ 極刑 | ウ 極楽 | エ 極光 | オ 極北 |
| 空欄9 | ア 源 | イ 結末 | ウ 元祖 | エ 減衰 | オ 反駁 <small>はんぱく</small> |

問八 次のア～エのうち、本文の内容とあっているものには○を、あっていないものには×を答えなさい。

- ア 身体がありようは、他者に対する自身の関係態度を表す〈身ぶり〉として他者に読み取られ、この〈身ぶり〉を誤ると他者から敬遠されたり拒絶されたりする場合がある。私たちの〈装い〉も他者への態度を表す〈身ぶり〉の一部としてこういった危険と無縁ではない。
- イ 他者からの承認をえる戦略として最も適切なものは、他者の評価と判断を意識した主体性をアピールすることではなく、リクルートスーツを着用するといったふうに画一性を追求することである。
- ウ 現代の〈装い〉は、目まぐるしく財が変化・増殖し、その動向が広く情報化されるシステムの中に組み込まれているため、多くの情報を集めて精査することによってファッションを通じた自己所有の戦略の成功が保証されることになる。
- エ 互いに差異化を試み差異化のオモシロサを追求するコミュニケーションでは、他者のふるまいと噛みあわないならコミュニケーション

ヨンの「戯れ」が成り立たず、また参照すべき他者たちのモードは自身で選択も統御もできない流動として「戯れる」者に押し寄せてくるため、承認の戦略としての〈装い〉による自己所有の試みは挫折し、統一性をもたない真の自己とは認めがたい分裂的なパフォーマンスへと反転してしまふ。

【二】 次の①～⑤の文中の二重傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① 誘惑やカンゲンにだまされてはいけない。
- ② まずい状況が変わらずショウソウ感が増すばかりだ。
- ③ 美しいクラシック音楽を聴いてユエツに浸る。
- ④ キョム感におそわれ、何事も前向きに考えられない。
- ⑤ 試合で相手選手との実力の差がニョジツにあらわれる。

【三】 次の①～⑤の文の□に入る漢字一字を答えなさい。

- ① 有名な写真家の集□成となる作品集。
- ② 彼は裸□貫で上京し苦勞して今の身代を築き上げた。
- ③ 当旅館の宿泊室は□竹梅の三つのランクに分かれています。

- ④ 登山中に大きなイノシシを見かけ怖くなって一□散に逃げた。
⑤ 陸海□を制覇した最強の戦車。

【四】 次の①～④の四字熟語を完成させるために○○にあてはまる最も適切な語を、ア～オから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

① 拍手○○

ア：心酔 イ：道断 ウ：喝采 エ：美辞 オ：猛進

例：彼の素晴らしい演技に拍手○○する

② ○○多難

ア：多種 イ：洋々 ウ：前代 エ：前途 オ：薄利

例：計画はスタートしたが○○多難であることは疑いがない

③ ○○全能

ア：全知 イ：完全 ウ：空前 エ：無欠 オ：一致

例：神は○○全能の存在であると信じる

④ 一気〇〇

ア：一憂　イ：一動　ウ：当千　エ：万事　オ：呵成^{かせい}

例：油絵を一気〇〇に仕上げた

【五】次の傍線部①～④の意味について最も適切なものを、ア～ウから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

問一 私の弟は①内弁慶の外地蔵だ。

ア 外ではおとなしくて意気地がないが自分の家では威張っている

イ 家族や仲間うちにはとても優しいが知らない他人には非常に冷たい態度をとる

ウ 自分の好きな事には熱心に取り組むが嫌いなことには興味を示さない

問二 日常の②とりとめのない会話。

ア 意味が全くない

イ 決まり切った定型の

ウ まとまりのない

問三 彼はプラモデルについて③造詣^{ぞうけい}が深い。

- ア まったく関心を持っていない
- イ 嫌悪感を抱いている
- ウ 非常に詳しい知識を持っている

問四

彼は日本サッカー界の④麒麟児だ。

- ア 経験と実力を兼ね備えた歴戦の強者
- イ 才能が特に優れた若者
- ウ 常識に従わない異端者

解答

【一】問一
ウ 4点

問二
牛耳 4点

問三
2 キ 3 ア 4 オ 5 イ 各3点

問四
6 イ 7 ア 各3点

問五
初 フ ア ツ シ ヨ ン は 終 ン な の で あ る 。 5点

問六

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 差 | 異 | を |
| 価 | 容 | 美 | 身 |
| 値 | 的 | な | に |
| を | な | い | ま |
| 認 | 価 | し | と |
| 知 | 値 | は | う |
| さ | よ | 趣 | こ |
| せ | り | 味 | と |
| る | も | の | で |
| | 自 | 良 | 形 |
| | 己 | さ | 象 |
| | の | と | 的 |
| | 独 | い | な |
| | 自 | っ | |
| | 的 | た | |
| | な | 内 | |

 10点 60 15

問七
8 オ 9 ア 各3点

問八
ア ○ イ × ウ × エ ○ 各3点

【二】
① 甘言 ② 焦燥 ③ 愉悦 ④ 虚無 ⑤ 如実 各3点

【三】
① 大 ② 一 ③ 松 ④ 目 ⑤ 空 各2点

【四】
① ウ ② エ ③ ア ④ オ 各2点

【五】
① ア ② ウ ③ ウ ④ イ 各2点

出題のねらい

本学の国語の問題はすべて現代文を題材としています。

【一】は評論文の指示語が指す内容を問う問題や、適切な接続詞を選択させる問題、本文を要約する記述問題などを出題しました。【二】【三】では熟語の漢字を問う問題で知識力を問いました。【四】は四字熟語の知識、【五】は慣用句の意味を問う問題です。

選択式問題や記述式問題をまんべんなく出題し、論理的に文章を読み解く力を評価しました。日頃の現代文の授業を丁寧に行うことが何よりも受験対策となるでしょう。